

【妊産婦のうつ傾向の推移】

「気分が沈みがち」「物事に興味がわかない」という設問に、両方あるいはいずれかに当てはまると回答された方の割合



【“次回の妊娠・出産をお考えですか？”の設問に「はい」と答えた方の推移】

全国調査	本調査					
平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度*
51.0%	52.9%	52.8%	57.1%	53.3%	54.6%	52.5%

全国調査:「平成22年第14回出生動向基本調査」結婚10年未満で子どもを予定している割合(既に子どもがいる場合)

※平成23年度調査は 設問項目なし

※暫定値 (平成30年6月30日現在)

第32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

気分が沈みがち、物事に興味がわかない、といった妊産婦の方のうつ傾向に関する設問については、その両方あるいはいずれかに当てはまると回答された方の数は減少傾向にあるものの、まだ高い水準にあります。

妊産婦のうつ傾向については、健やか親子21（母子保健の国民運動計画）によると、エンジンバラ産後うつ指標を用いて評価した「産後うつ」の割合は9.0%（平成25年）であるところ、平成28年度調査の結果（暫定値）から算出されるエンジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は11.2%でした。

平成29年度調査（暫定値）では、次回の妊娠・出産を希望すると回答した方の割合は52.5%でした。平成24年度調査以降、回答者の半分以上の方がこれからも妊娠・出産を希望しています。参考として、平成22年第14回出生動向基本調査によると、結婚10年未満の夫婦で子どもを予定している割合は58%（既に子どもがいる場合に限ると51%）です。

本資料への収録日：平成27年3月31日

改訂日：平成31年3月31日